

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	国立感染症研究所施設整備経費			<b>担当部局庁</b>	国立感染症研究所		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成27年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成27年度	<b>担当課室</b>	総務部会計課		猪股 研次			
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	-					
<b>主要政策・施策</b>	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			<b>主要経費</b>	文教及び科学振興					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立感染症研究所村山庁舎に関する厚生労働大臣と武蔵村山市長の会談を踏まえ、庁舎の災害や事故について、市や警察等の関係機関と連携して対応する体制構築し、村山庁舎の施設及び施設周辺の安全対策や事故・災害対策及び避難対応の強化を図ること。									
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	国立感染症研究所村山庁舎内における災害・事故が起きた場合に、職員をあらかじめ指定した避難場所へ退避させ、消防車両による消火活動等が迅速に行えるように、庁舎に通じる経路を整備するもの。									
<b>実施方法</b>	直接実施									
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-			
		補正予算	-	-	29	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	29	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	▲29	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	0	0	0	29	0				
	執行額	0	0	0	-	-				
執行率(%)	-	-	-	-	-					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 28年度	
	目標値として年間3回以上の開催を目指す。	関係機関との連携体制を構築するため、村山庁舎施設運営連絡協議会を開催する。(平成27年1月から開催)	成果実績	回	-	3	6	-	-	
		目標値	回	-	3	6	-	3		
		達成度	%	-	100	100	-	-		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	国立感染症研究所が施工した施設整備の完了	活動実績	件	-	-	-	1			
		当初見込み	件	-	-	1	1			
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	X 執行額/Y 工事完了件数	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	29			
		計算式	X/Y	-	-	-	29百万円/1			
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	計	0	0							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること								
	施策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28年度	目標年度 29年度	
		国立感染症研究所における研究課題評価(毎年度実施)において3.5点以上の獲得を目指す。	実績値	点	4.4	4	集計中			
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	国立感染症研究所村山庁舎における施設整備を行うことで、研究業務等の安全かつ円滑な実施に資するもの。									
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-					
		KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										
<b>事業所管部局による点検・改善</b>										
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国立感染症研究所村山庁舎の施設及び施設周辺の安全対策や事故・災害対策及び避難対応の強化を図ることは、国民や社会の要求に即しており、国費の投入が必要。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。							
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国立感染症研究所村山庁舎のセキュリティ対策の強化を図ることは、当研究所のみならず、周辺住民や隣接する施設への安全性の確保のため、重要度が高く、優先度の高い事業である。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-								
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-								
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-								
費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-									
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	当初の計画よりも詳細な設計が必要となるなど、不測の日数が生じたことにより年度内に支出を完了することが困難となったため。							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-								
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-								
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-								
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	当該事業は、セキュリティ対策の強化を図るための一時的な事業である。国立感染症研究所施設管理事務経費は村山庁舎の維持管理に係る事業であり役割が異なる。							
	所管府省・部局名	事業番号							事業名	
	厚生労働省国立感染症研究所	866							国立感染症研究所施設管理事務経費	
点検・改善結果	点検結果	地元住民等による安全確保に対する要望を取り入れ、理解を得るための調整に時間を要する等の可能性があるため、やむを得ない事由により平成27年度補正予算から平成28年度へ全額繰越しを行ったところである。適切な事業計画を立案し、競争契約を実施することにより、合理的かつ低価な発注を行うよう努める。また近隣の住民、大学等の安全を考慮し、協議、調整を適正に行い速やかに工事を進めることが必要である。								
	改善の方向性	平成27年度限りの経費。平成28年度においては、前年度に全額繰越しの承認を受けたところ。4月27日に入札が不落となったため、6月1日に再度入札公告を実施した。								

外部有識者の所見

H27年度予算が翌年度に繰り越されているが、関係者との協議・調整を適切に行い事業を実施する環境を整えた上で、予算の執行を適切に行って頂きたい。アウトカムが協議会開催件数となっているが、本事業の目的と事業内容に照らし定量的な成果目標の設定は難しく、代替として予算額に対する執行額の表示でも仕方ないと思われる。(栗原 美津枝)

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

平成27年度予算は繰り越されているが、関係者との協議・調整を適切に行い事業を実施する環境を整えた上で、適切な予算執行を行うこと。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

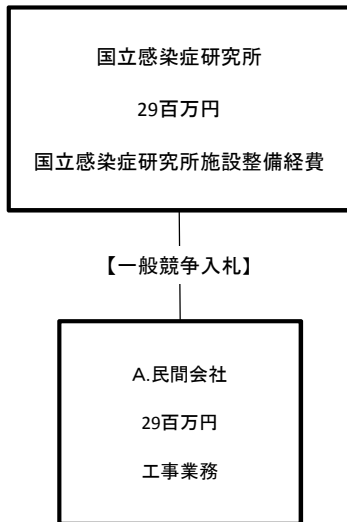
関係者との協議・調整を密に行い、適切な予算執行に努めて参りたい。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

